

2014年度「日本語体験コンテスト」予選問題(30問)  
による6ヶ国日本文化理解度比較

2014/11/28

<予選問題30問>

	問題	カンボジア	ベトナム	タイ	中国	インドネシア	ミャンマー
1	今年4月から消費税が上がりました。何パーセントになったでしょう。 A 5 B 8 C 10	67.3%	57.6%	36.0%	88.3%	27.3%	54.5%
2	次の戦国武将のうち、一番長生きしたのは誰でしょう。 A 織田信長 B 豊臣秀吉 C 徳川家康	54.5%	48.5%	26.0%	69.1%	23.6%	43.6%
3	富士山が前回噴火したのは何時代でしょう。 A 江戸時代 B 明治時代 C 昭和時代	30.9%	31.8%	14.0%	46.8%	27.3%	45.5%
4	日本で、「河童」が好きだと言われている食べ物は何でしょう。 A なつとう B きゅうり C てんぷら	14.5%	28.8%	44.0%	53.2%	36.4%	20.0%
5	苦労しないで、よいものを手に入れることを「棚から牡丹餅」といいますが、これを短くしてなんというでしょう。 A たなもち B たなぼたん C たなぼた	34.5%	36.4%	26.0%	44.7%	26.0%	28.0%
6	東京都の次に、人口が多い都道府県はどこでしょう？ A 神奈川県 B 大阪府 C 北海道	27.3%	18.2%	22.0%	28.7%	22.0%	20.0%
7	「2013ご当地ゆるきやらんキング」で、第一位だったキャラクターの名前はなんでしょう？ A くまモン B ふなっしー C さのまる	40.0%	30.3%	6.0%	14.9%	22.0%	30.0%
8	日本郵便が今年3月3日に発売した2円切手に書かれている動物は何でしょう。 A 白鳥 B うさぎ C 蝶	54.5%	34.8%	28.0%	27.7%	32.0%	36.0%
9	長寿国として知られている日本ですが、2013年に発表された女性の平均寿命は何歳でしょう。 A 86歳 B 90歳 C 84歳	47.3%	51.5%	24.0%	57.4%	22.0%	54.0%
10	現在週刊少年ジャンプで連載中の漫画で、累計発行部数が3億冊を突破した漫画は何でしょう。 A ナルト B ドラゴンボール C ワンピース	45.5%	65.2%	44.0%	78.7%	38.0%	38.0%
11	春夏秋冬(はる、なつ、ふゆ、ちゅう)と書いて、店の前に看板を掛けている店があります。 A じゅんびちゅう B あきないちゅう C きゅうぎょうちゅう	32.7%	33.3%	24.0%	41.5%	18.0%	24.0%
12	富士山は日本一高い山ですが、富士山が日本で一番遠くから見える県はどこでしょう。 A 秋田県 B 和歌山県 C 広島県	45.5%	37.9%	32.0%	42.6%	12.0%	38.0%
13	今、日本で人気のアイドルグループ「ももクロ」。「ももクロ」の正式なグループ名はどれでしょう。 A ももいろクローヅ B ももいろクローワッサンZ C ももいろクローバーZ	49.1%	39.4%	40.0%	58.5%	34.0%	40.0%
14	アジア人として初めて国際宇宙ステーションの船長になったのは誰でしょう。 A 若田光一 B 向井千秋 C 毛利衛	40.0%	28.8%	24.0%	34.0%	22.0%	38.0%
15	2013年の年間流行語大賞をとったことばは次のうちどれでしょう。 A おもしろさ B おもてなし C おもてうら	50.9%	54.5%	30.0%	81.9%	30.0%	44.0%
16	2014年の5月の調査で中学1年生(13歳)がなりたい職業第1位になった職業はなんでしょう。 A 公務員 B グランドスタッフ C 医者	41.8%	33.3%	12.0%	43.6%	10.0%	50.0%
17	2014年のNHK大河ドラマの主人公の名前はなんでしょう。 A 新島八重 B 平清盛 C 黒田官兵衛	36.4%	27.3%	34.0%	46.8%	24.0%	26.0%
18	お富士山の頂上真ん中にある噴火口は一般的に何と呼ばれているでしょう。 A お皿 B お鉢 C お盆	38.2%	24.2%	20.0%	38.3%	26.0%	26.0%
19	近年日本では、10人以上集まって競い合うロープジャンプが小学生に人気ですが、ロープジャンプは別名何と呼ばれているでしょう。 A 横綱(よこづな)跳び B 沖縄(おきなわ)跳び C 大縄(おおなわ)跳び	32.7%	22.7%	32.0%	51.1%	26.0%	24.0%
20	日本国憲法で「戦争の放棄」を定めているのは第何条でしょう。 A 第3条 B 第7条 C 第9条	29.1%	30.3%	24.0%	45.7%	18.0%	26.0%
21	桜は散る、椿は落ちる、では牡丹は何というでしょう。 A 枯れる B こぼれる C くずれる	45.5%	37.9%	26.0%	26.6%	30.0%	30.0%
22	温かいそばはどれでしょう。 A かけそば B もりそば C ざるそば	52.7%	36.4%	32.0%	39.4%	34.0%	24.0%
23	2012年にノーベル医学・生理学賞を受賞した山中伸弥氏を中心になって作り出した細胞は何でしょう。 A STAP細胞 B iPS細胞 C es細胞	56.4%	47.0%	36.0%	51.1%	34.0%	62.0%
24	大相撲の横綱は現在、何人いるでしょう？ A 1人 B 2人 C 3人	32.7%	25.8%	18.0%	40.4%	8.0%	22.0%
25	去年プロ野球球団楽天タイーグ스를日本一へと導き、ニューヨークヤンキースへ移籍した田中将大投手の愛称は何でしょう。 A ゆーくん B まーくん C まさくん	23.6%	25.8%	34.0%	47.9%	30.0%	30.0%
26	2020年までに完成が予定されている山手線の新しい駅は田町駅と何駅の間にできるでしょう。 A 品川駅 B 大崎駅 C 五反田駅	49.1%	54.5%	28.0%	44.7%	32.0%	48.0%
27	現在の東京は以前は「江戸」と呼ばれていましたが、「東京」と呼ばれるようになったのはいつからでしょう。 A 明治時代 B 大正時代 C 昭和時代	50.9%	30.3%	12.0%	53.2%	32.0%	46.0%
28	解答用紙28の欄に書いてあるのは、「つらくても辛抱して続ければ、いつかは成し遂げられる」という意味のことわざですが、□に漢数字を入れて、言葉を完成させてください。「石の上にも三年」。	10.9%	25.8%	2.0%	47.9%	2.0%	12.0%
29	解答用紙の29の欄に書いてある感じは、何と読むでしょう。 おみおつけ	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%
30	解答用紙の30の写真は、何という座り方でしょう。 ひらがなで書いてください。 せいざ	10.9%	21.2%	8.0%	53.2%	12.0%	6.0%

(注記)※正解率＝正解者÷参加者数×100で算出【小数点第2位以下は四捨五入】

※参加者数：プノンペン95名、ホーチミン58名、バンコク29名、上海94名、ジャカルタ30名、ヤンゴン50名

## 日本語体験コンテスト 日本文化理解度比較

2014年度の8月から9月末迄に一般財団法人共立国際交流奨学財団が実施した、「日本語体験コンテスト in プノンペン(カンボジア人 95 名)」、「日本語体験コンテスト in ホーチミン(ベトナム人 58 名)」、「日本語体験コンテスト in バンコク(タイ人 29 名)」、「日本語体験コンテスト in 上海(中国人 94 名)」、「日本語体験コンテスト in ジャカルタ(インドネシア人 30 名)」、「日本語体験コンテスト in ヤンゴン(ミャンマー人 50 名)」の6か国の予選会で実施された、日本語聞き取り問題 30 問の正解率から、カンボジア、ベトナム、タイ、中華人民共和国、インドネシア、ミャンマーで日本語を勉強している学生の日本文化理解度を国別で比較してみました。

第1問目の消費税に関する問題については、中国で 88.3%と最も高い正答率でした。今年4月に消費税率が引き上げられたことから、時事問題にも精通していると考えられます。

第2問目は、各国とも他の問題より比較的正答率が高めであることから、戦国武将に関する日本の歴史に対する理解が高いということがわかりました。

第3問目の富士山噴火に関しては、全ての国において正答率が 50%以下であり、富士山は有名であるが噴火した時代までは知られていないということがわかりました。

第4問目は中国を除き 50%以下の正答率であり、日本では昔から有名な河童でも中国以外ではあまり知られていないということがわかりました。

第5問目は、最も正答率の高い中国でも 44.7%と低く、ことわざの意味ではなく略称を問われることは難しいのではないかと考えられます。

第6問目は日本の人口の問題ですが、各国とも 30%以下の正答率であり、都道府県別の人口の認知度は低いということがわかりました。

第7問目は日本のゆるキャラに関する問題でしたが、3つの選択肢のゆるキャラはいずれもランキング一位になったことがあり、2013年の第一を選ぶことが難しかったようです。

第8問目の切手の問題は、カンボジアのみ高い正解率となり、全体的には認知度は低いということがわかりました。

第9問目の日本女性の平均寿命に関する問題については、6か国中4か国の正答率が 50%前後と高く、比較的関心の高い事柄であることがわかりました。

第10問目は中国の 78.7%を筆頭に各国とも正答率が高く、メディアで報じられる通り、海外において日本の漫画人気は高いということがわかりました。

第11問目は、「春夏秋冬」を「あきないちゅう」と読む問題で、この語彙を知っている人と、問題文から答えを推測した人がいたかと思いますが、正答数はどの国も半数以下と低かったです。

第 12 問目は、正答率 40%前後の国が多く、富士山は有名でもどこから見られるかについてはあまり知られていないということがわかりました。

第 13 問目は、中国で 58.5%と高い正答率で、日本のアイドルについての認知度が高いということがわかりました。

第 14 問目の宇宙飛行士若田光一さんの問題は、正答数は過半数を超える国はなく、日本国内では大きなニュースとして取り上げられましたが、この 6 か国ではあまり認識されていないということがわかりました。

第 15 問目の「おもてなし」は、東京オリンピック誘致のスピーチで生まれた流行語で、自国でオリンピック開催歴があり過去の参加選手数も多い中国で 81.9%と高い正答率となりました。次いでベトナムで 54.5%、カンボジアで 50.9%と高い正答率となりました。

第 16 問目の中学生がなりたい職業についてはミャンマーの 50.0%が最も高く、一方インドネシアでは 10.0%と低い結果になりました。

第 17 問目は、中国の 46.8%が最も高く、全ての国で半数以下の正答率で、大河ドラマに関する理解度はあまり高くないと考えられます。

第 18 問目の富士山のお鉢に関しては、正答率 40%を超える国はなく、富士山は有名であるがお鉢までは知られていないということがわかりました。

第 19 問目については、中国の 51.1%を除き、各国とも正答率 30%前後と低く、大縄跳びは日本では流行しているがまだ海外ではあまり知られていないということがわかりました。

第 20 問目の憲法の問題は、6 か国とも半数以下の正答率であり、難しい問題だということがわかりました。

第 21 問目は、最も正答率が高いカンボジアでも 45.5%で、日本独特の表現が難しかったと考えられます。

第 22 問目は日本食であるそばに関する問題で、カンボジアのみ 50%を超える高い正答率となりました。

第 23 問目のノーベル医学・生理学賞となった iPS 細胞の問題では、ミャンマー、カンボジア、中国の順に高い正答率となり、最先端技術への関心の高さが伺えました。

第 24 問目の相撲に関する問題では、記述を除き最も低い正答率の国もあり、あまり知られていないということがわかりました。

第 25 問目については、中国の 47.9%が最も高い正答率で、その他の国は 30%前後と低いことがわかりました。

第 26 問目は駅に関する問題で、中国、カンボジア、ミャンマー、ベトナムで 50%前後の正答率となり、比較的関心の高い時事問題であるということがわかりました。

第 27 問目の時代に関する問題は、中国の 53.2%、カンボジアの 50.9%、ミャンマーの 46.%の順に高く、歴史的な知識があるということがわかりました。

第 28 問目は中国が 47.9%と他の国に比べ高い正答率でしたが、中には 2.0%と非常に低い国もありました。解答欄を見ると、アラビア数字で書いている学生が多数みられ、ことわざの理解度に加え、中国に比べ他の国では漢字に対する親しみがないということがわかります。

第 29 問目は、「御御御付け」の漢字の読みですが、全 6 か国中で 1 人のみが正解で、非常に難しい問題であるということがわかりました。

第 30 問目は、正座の写真を見てその座り方を答える問題で、中国で正答率 53.2%であった以外は、各国とも低い正答率でした。

全問題の平均理解度を比較すると、正答率の高い順に中国 46.6%、カンボジア 38.2%、ベトナム 34.6%、ミャンマー 32.9%、タイ 24.6%、インドネシア 23.7%でした。

中国は、消費税や流行語などの時事問題と、歴史や文化に関する問題で、共に高い正答率が見られました。歴史文化に関して学習しているということと、日本の現状に関する情報を知識として得やすい環境であると考えられます。

また、カンボジア、ベトナム、ミャンマーの 3 国で正答率が 50%を超えるものには時事的な問題が多く、流行や日本の現状に対する関心の高さが伺えます。タイとインドネシアでは正答率 50%を超える問題はありませんでした。

今回のコンテストでも、最新の文化や流行、時事問題を多く出題しました。学校での日本語の勉強だけではなく、日本に興味を持ち、積極的に情報を集める力が求められ、日本への関心度や日本文化理解度を試す問題でした。

このコンテストをきっかけに、さらに日本に興味を持ってもらい日本への理解を深めてくれることを期待しています。